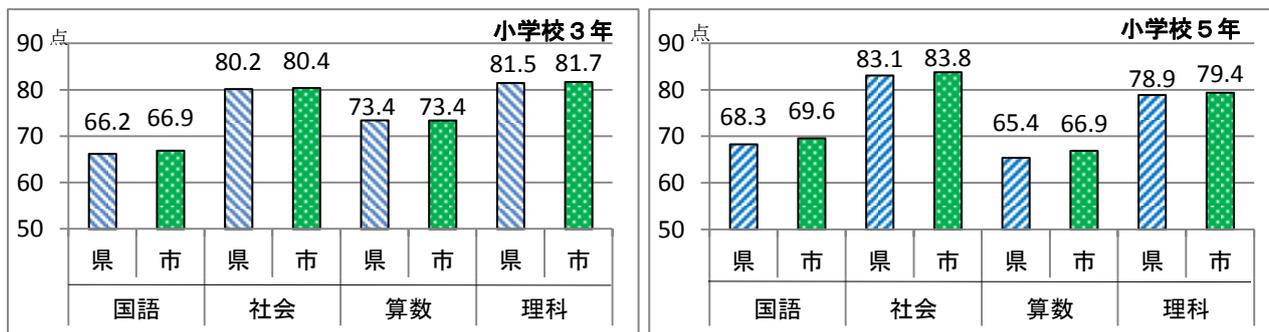


## 平成28年度千葉市学力状況調査結果概要（小学校版）

### 1 県と本市の平均正答率との比較



○国語3・5年、社会3・5年、算数5年、理科3・5年は県平均を上回り、算数3年は県平均と等しく、概ね良好であると言えます。

### 2 各教科の改善策

#### 【国語】 言語に関する知識・理解を深め、目的を明確にした言語活動の充実

##### 小学校3年

- 相手や目的に応じ筋道を立てて話す活動において、話し方の工夫について相互評価する機会を多く設定する。
- 音読との関連を図った言語活動を位置付け、音読と内容理解を結び付けられるようにする。
- 身近なものの表記やコンピュータ等の活用をとおして、ローマ字に接する機会を増やす。

##### 小学校5年

- 目的や意図に応じた効果的な表現を考え、書いた文章を推敲したり発表し合ったりする相互評価の機会を増やす。
- 日常的に物語や詩に触れる機会を設け、考えを深めたり広げたりする交流活動を行う。

#### 【社会】 知識・技能を生かし、見方・考え方を働かせた思考力・判断力・表現力の育成

##### 小学校3年

- 調査活動や資料から得た知識をもとに表現する機会をとおして、活用する力を育てる。
- 社会的事象について興味・関心を持ち、自ら調べ解決していく問題解決的な学習の機会を増やし、思考・判断・表現する力を育成する。

##### 小学校5年

- 複数の資料、地図などの読み取りをとおし、事象を比較、関連付けて考えられるようにする。
- 問題解決的な学習を展開し、多面的な見方で社会的な事象が捉えられるようにする。

#### 【算数】 数学的活動をとおした指導の充実

##### 小学校3年

- 長さや時間などの量感をつかませるために、日常生活の中で数学的活動を体験できる場を多く設定する。
- 調査や資料づくりなど多様な学習において、表や棒グラフを用いて考える場を多く設定し、学びを活用して根拠を明確にしながら説明できるようにする。

##### 小学校5年

- 計算の意味を理解する学習では、計算の結果を見積もる力を付け、線分図や数直線を使って解き方を説明する活動を多く取り入れる。
- 図形を変形・移動させるなど、図形の面積の相等関係を理解し、求積の仕方を筋道立てて説明する活動を多く取り入れる。

## 【理科】 目的意識を持たせた観察・実験、根拠をもとにした思考力・判断力の育成

### 小学校3年

○実験や観察の結果を考察する際は、継続的に観察をさせたり繰り返し体感させたりしながら、経験と結び付けて理解できるようにする。

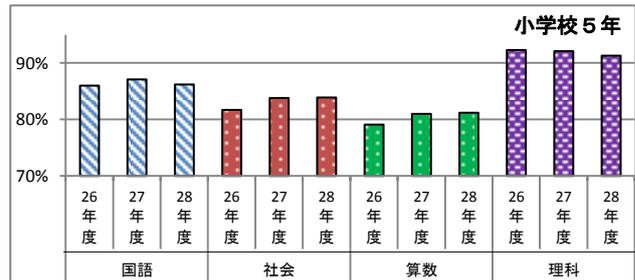
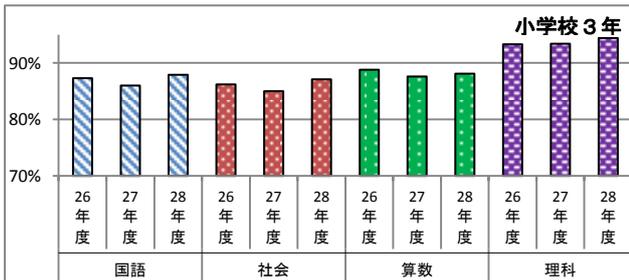
○観察の視点を明確にし、観察をとおして学んだことを実生活に関連付けることで興味・関心を高め、知識の活用につなげる。

### 小学校5年

○器具の操作手順や留意点を確認し技能の習熟を図るとともに、目的意識を持たせて観察や実験を行うようにする。

○各種情報や複数の資料を比較しながら学習を進め、結果や原因を類推し、根拠をもとにした思考・判断ができるようにする。

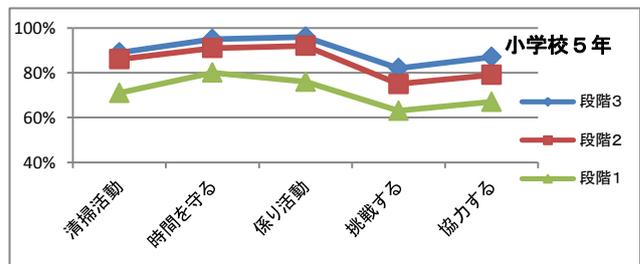
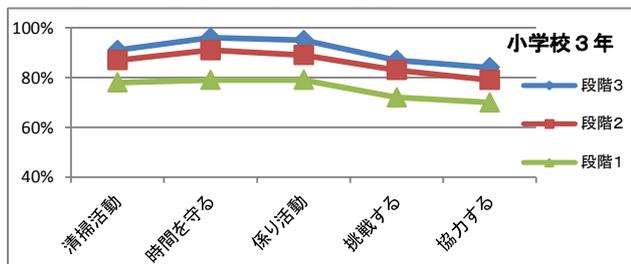
## 3 学習に対する意識（学校の勉強がわかる）



### 「理科がわかる」割合は91%以上

小学校3、5年ではともに理科の学習がわかるという回答の割合がそれぞれ94%、91%で高い。前年度に比べて、小学校3年の全教科、小学校5年の算数と社会において「わかる」肯定的回答率が向上している。

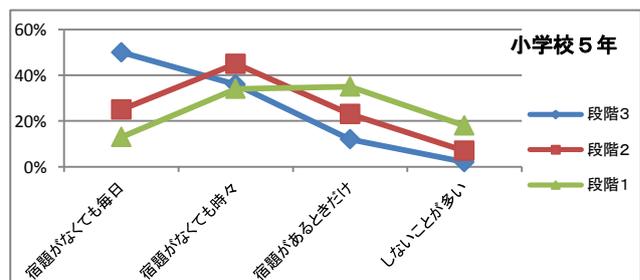
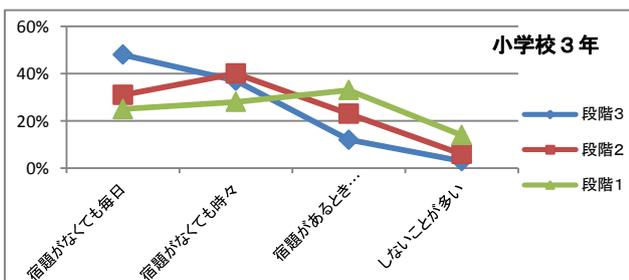
## 4 学力と学校生活との関連 標準偏差により小学校は段階3から成績上位群としている。



### 「成績上位群・中位群」と「成績下位群」で大きな差がある

全学年とともに、「成績上位群・中位群」と「成績下位群」で肯定的回答率の割合に大きな差が開いている。

## 5 学力と家庭学習との関連



### 「成績上位群」は家庭学習によく取り組んでいる

「成績上位群」は宿題がなくても毎日、「成績中位群」は時々している子の割合が大きい。「成績下位群」では、5年になると宿題があってもしない子の割合が大きくなっている。